

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の有用性に関する多施設共同研究（通称：MITRA PLUS）

研究の目的

重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁置換術と乳頭筋に介入した僧帽弁形成術の臨床成績を後方視的に比較検討することである。

研究実施期間： 2015年1月1日 ～2023年12月31日
（倫理委員会承認日）

対象となる方： 2015年1月1日 ～2023年12月31日までの間、弘前大学附属病院心臓血管外科を受診し、重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症と診断され、手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、術前・術後1年・直近の心エコーデータについて、標記研究課題実施のために利用します。

①主要評価項目：全死亡、心血管死亡及び脳心血管有害事象（死亡、脳梗塞、僧帽弁に対する再手術、心不全による再入院、心不全の増悪のいずれか）発生について評価します。

②副次的評価項目（Secondary endpoint）：1年後の左心室機能について、左室径ならびに収縮能、中等度以上の僧帽弁閉鎖不全症の再発について心エコーを解析します。

データはすべて、東京慈恵会医科大学 心臓外科（研究代表者 教授 國原 孝）に提供します。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿などの方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先

心臓血管外科外来 皆川正仁 連絡先：代表 0172-33-5111